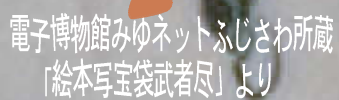


NO.22

じんぎでんせつ 3

しらはたやまが、二かしよある？



おくの地区社協  
さく いいだあきお

あるなつのひのこと。

なっちゃんが、おかあさんと **しまだを** さんぽをしていると

「おかあさん、しらはたやまって、しってる？」

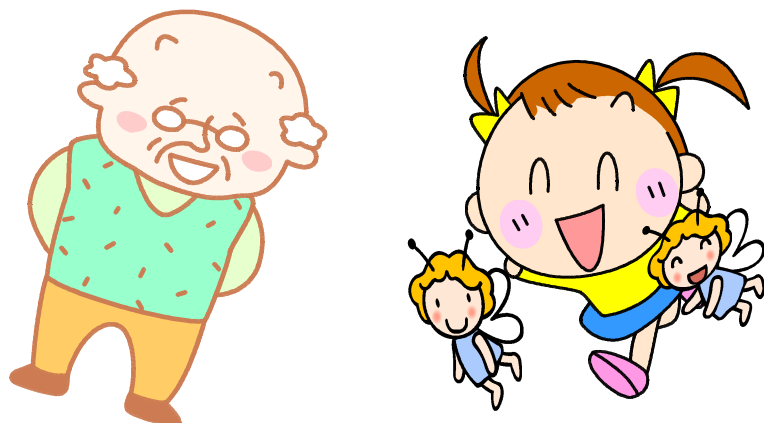
「ん～、わからないわ。おじいちゃんにきいてみれば」

「そうか、よーし。きいてみよう」

**わくわく**



そのとき、ようせいがあらわれて、おじいちゃんのところにつれていってくれた。



なっちゃん、ものをよくしっている おじいちゃんが、だーいすき。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？



わたしは、なぜなぜで一す。

おじいちゃんに  
きいてみると





おじいちゃんが、おしえてくれた。

「いまからやく 1 0 0 0 ねん  
まえのこと。 **ごさんねんのえ  
き**（後 3 年の役）で、かつやくした  
**ごんごろう**が、すくないぶか  
と **かまくら**にかえるとちゅう  
う、てきの **とりみやさぶろう**  
（鳥海弥三郎）におそわれた。さあ、  
たいへん。ふいをつかれた **ご  
んごろうぐん**。

でも、**ごんごろう**のめいれ  
いのもと、いちがんとなつて、  
おうせん。はげしいたたたか  
いとなった。

そのとき、1 ぽんのやが

びゅー  
びしっ

ごんごろうの みぎのめに  
めいちゅう。

い たたた！

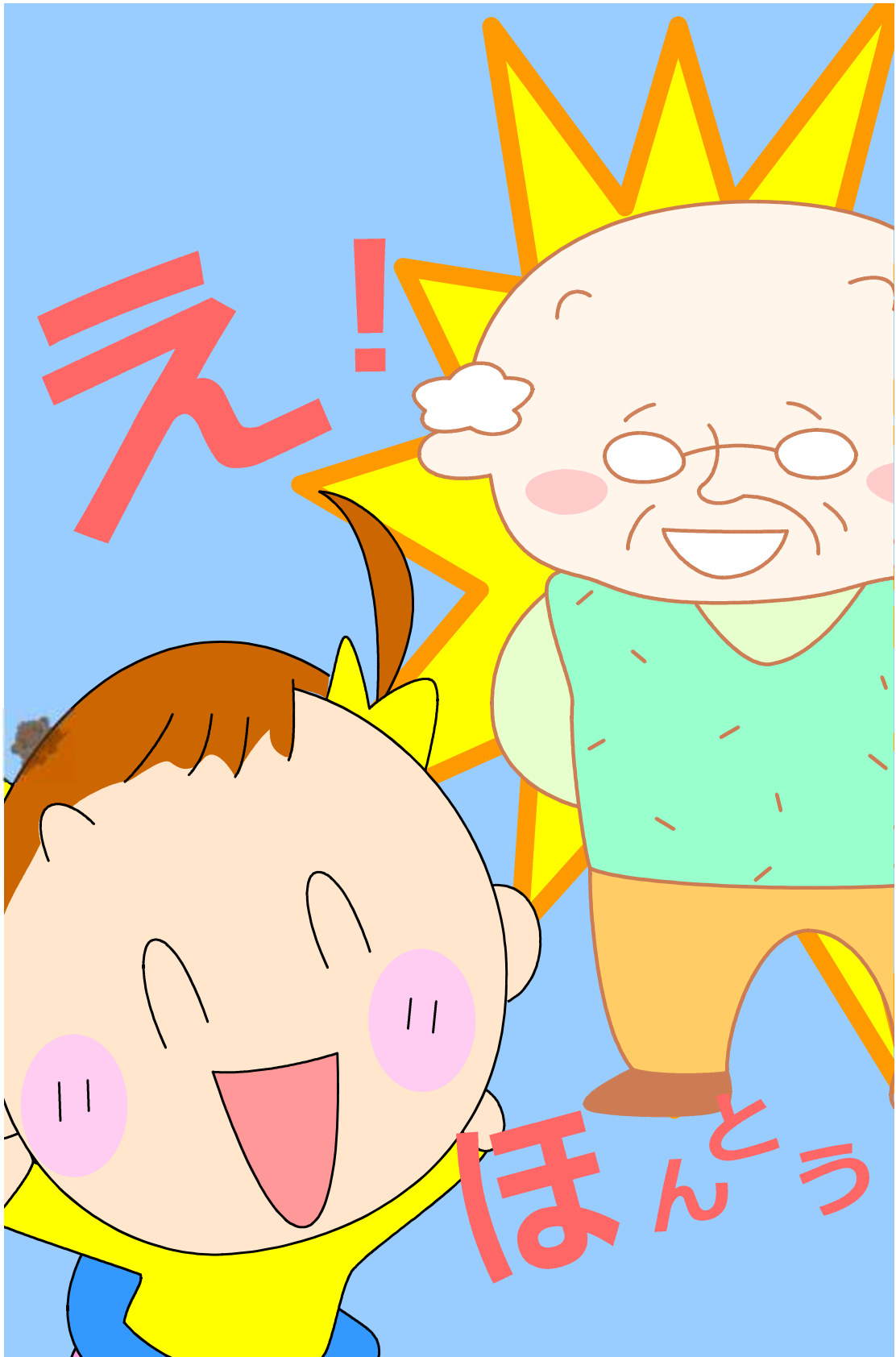
しかし、いしがつよくゆう  
かなごんごろう。

ひるむことなく、やをつき  
さしたままたたかい、みごと  
**とりみやさぶろう**（鳥海弥三郎）を  
うちとった。そのばしょに**し**  
**らはた**（白旗）をおさめたんだ。  
のちにほこらがたてられ、**し**  
**らはたやまじんじや**とよば  
れ、そのやまを**しらはたやま**  
というようになった。



でも、ほかにもあるらしい  
んだ。くわしいことは、あき  
おさんにきいてみるか？！



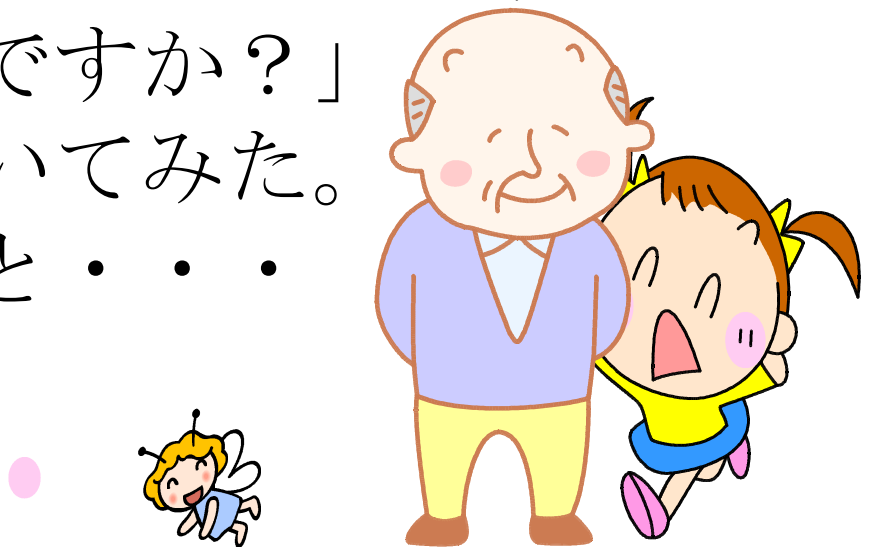


やくそくのひ。おじいちゃん  
んとあきおさんのいえにいつ  
た。

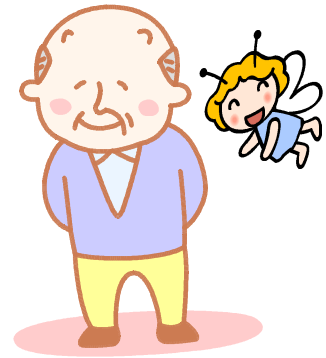
おじいちゃんは、ようじが  
できて、いそいで かえって  
いった。

なっちゃん、ゆうきをだし  
て、

「しらはたやまって、どこに  
あるんですか？」  
と きいてみた。  
すると・・・



すごいことにきがついた  
ね。わたしもまえに  
しらべてみたこと  
があったんだ。



おくのちくに

3かしょあるようなんだ。し  
たのちずの①～③のばしょ  
だ。



地図：「牛久むかしばなし3 鎌倉権五郎影政」引用加筆

まえのページのちずの①の  
しらはたやま。

(牛久<sup>うし</sup>く<sup>く</sup>むかし<sup>ばなし</sup>3鎌倉<sup>かまくら</sup>  
権五郎<sup>ごんごろう</sup>景政<sup>かげまさ</sup>：牛久市<sup>うし</sup>図書<sup>く</sup>書<sup>し</sup>  
館<sup>ど</sup>刊<sup>しよ</sup>より)



あかさかのひだりがわのやま



ごんごろうは、みなもとのよしいえ（源義家）のけ  
らいだったので、しろいはたをおさめた。

ちずの②のしらはたやま。

おくのぎむきょういくがっ  
こうのひがしがわろうじんほ  
一むあたり。じもとのひとが、  
おしえてくれた。このあたり  
だ！



かまくらかいどう ちゆうせい みち  
(地図：鎌倉街道と 中世の道より引用)

ごんごろうは、みなものよしいえ（源義家）のけ  
らいだったので、しろいはたをおさめた。



ちずの③のしらはたやま。



うし く し みん ぞく ちよう さ ほう こく しよ  
牛久市民俗調査報告書によると、たたかいにまけておち  
のびた**にったよしさだ**（新田義貞）  
のぶしょうかも？

たたかいにまけたぶしをまつた**しらはたやま**？



なっちゃん、

びゅん!

どこがただしいの?



なっちゃん、またまた、ぎもんが、とびだした。

①「どうして、**しらはたやま**  
(白旗山)をとよむのかな？

それはね**げんじ**のはたである**しらはた**にちなんているだ。

びっくり！

②「どうして、たたかいにか  
って**しろいはた**をおさめたの  
かな？」

ごんごろうは、**げんじ**のぶ  
しょう**みなもとのよしいえ**  
(源義家)のぶかだったから。

びっくり！

③しらはたじんじゃは、にほんにやく 70 しゃある。

おもにかんとう（関東）・  
とうほく（東北）ちゅうぶ（中部）などにある。むかしげん  
じが、つよかったところだ。

びっくり！

④ごんごろうが、かつらがわ  
のむこうぎしのおてらにむか  
ったというのに いまおてら  
がない。

かつらのひとにきいたら、  
いてんしたという。

びっくり！

⑤おくのだけに **ごんごろう** で  
**んせつ** がのこっているの？

ちがうよ。**しもふさく** に（下  
総国）いまの **ちばけん** にもあ  
るよ。めのきずをいやし、め  
をあらったという **ごんごろう**  
**めあらい** のいけ。また、ちか  
くには **ごんごろう** のやかた **め**  
**ぶきじょう** があつたばしょも  
あるよ。びっくり！

そのほかにもあるんだよ。

びっくり！

⑥ こんごろう とたたかったと  
りみやさぶろうのおはかもあ  
ったんだよ。びっくり！

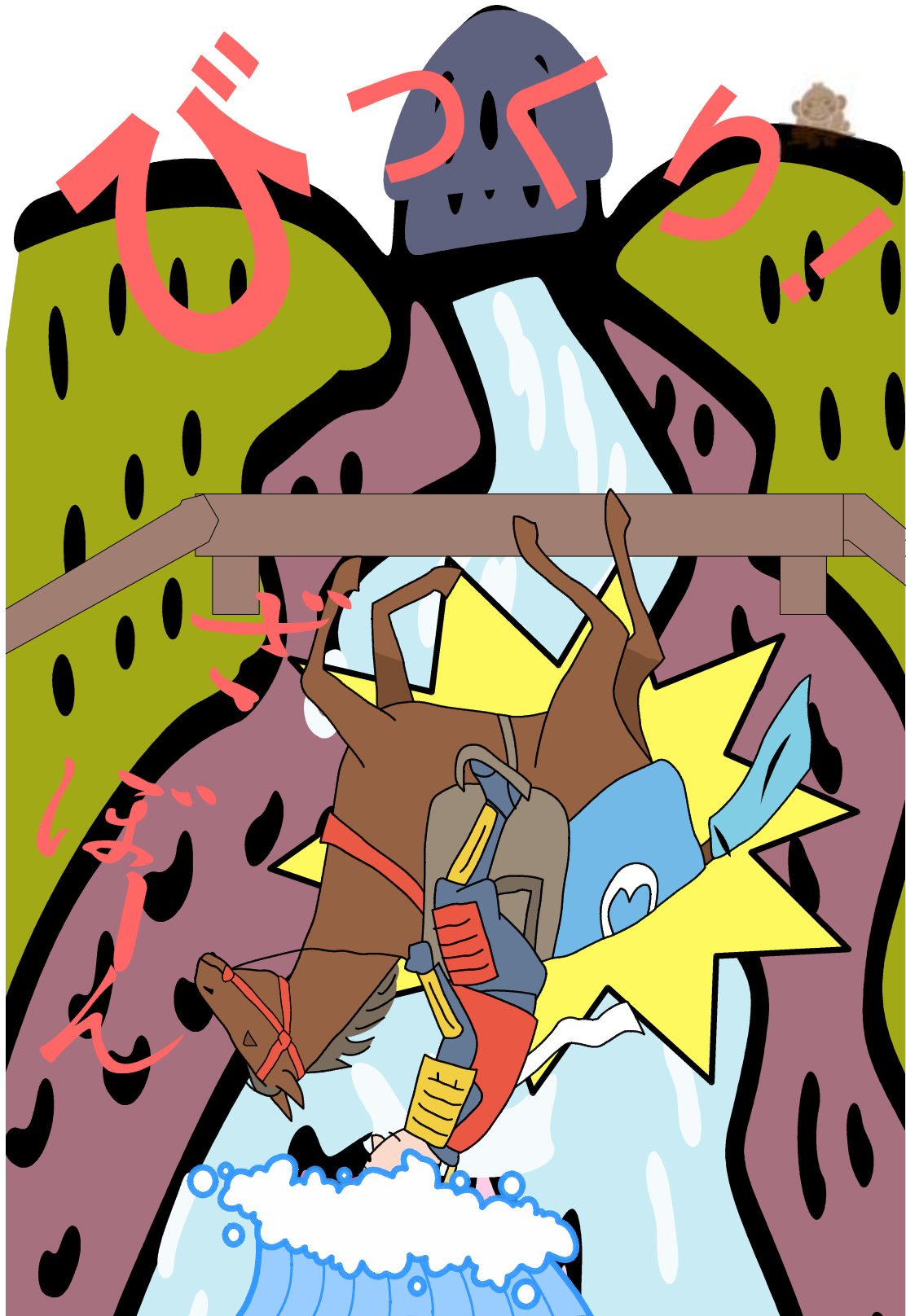
ここに とりうみやさぶろうのはかがある



でも、ちずを  
もとにさがしに  
いくと<sup>けんおうどう</sup>圈央道を  
つくるためにき  
りひらかれてい  
た。そのなかに、  
ちいさなやまが  
・・・。  
ここのようだ。



そして、かつらがわで



かわに おちてしまっ  
た **ごんごろう**。

**ばたばた**  
**ばたばた**

なんども はいあがろうとし  
たが、ちからつきそのまま  
しずんでしまっ  
た。このはなし  
を きいたさと  
のひとたちは、  
ふかくかなしみ・ ・ ・



かつらがわ



なっちゃんは、**ごんごろう**  
が、つよいいと やさしい  
ところをもったほこりたかき  
**ぶし**だったことが、よくわ  
かった。

だから、い  
までもよしだ  
けにかぶとが  
のこっていた



り、あかさか・うつつざか・  
おみたらしのいけというちめ  
いがのこっていたり、おはか  
もつくられているんだ。

やっぱり、ごんごろうは、  
おくのたからものなんだ。

さて、つぎは、なにをしら  
べようかな？



あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜなぜくん。  
つぎのひみつをもとめてスキップしながらかえっていった。よ  
うせいも にこにこしながらかえっていった。



# またね

(さんこうしりょう)

牛久むかしばなし三「鎌倉権五郎影政」